新年の挨拶

代表取締役社長　安永　暁俊

新年あけましておめでとうございます。

皆さまには、ご家族とともに健やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

社員の皆さんのご協力により、新たな一年を迎えられたことを心より感謝申し上げます。

安永の将来に向けて

今回は、新年の挨拶として、これからの会社の将来に向けてお話したいと思います。

今、安永は『グローバルニッチNo．1』へ向けた取り組みを着々と進めています。

安永は、この日本を取り巻く厳しい局面の中、攻め腰で取り組むことで、活路を切り拓いていきます。

エンジン部品事業の取り組み

はじめに、エンジン部品事業の取り組みについて話したいと思います。

中でも、コンロッド製品は、以前より実績を積み重ねてきた、オーバーフロー品やフェードアウト品といったニッチ市場に加えて、今後は、量産品市場でも実績を拡大していきます。

エンジンに対する燃費・CO2排出規制が年々強まる中、自動車メーカーからの外注需要も増える傾向にあり、新規量産品の商談を積極的に進めている状況です。

こうした流れの中、昨年度の韓国進出・工場設立に引き続き、今年度はタイへの進出・工場を新設します。これにより、アジアでのエンジン部品事業、特にコンロッド製品をグローバルニッチNo．1へと位置づけ、ホームであるアジア地域を伸ばしていきます。

超円高を新たな機会（チャンス）と考え、海外投資を割安に進めていきます。今までに前例がないほどの速い海外展開となります。

一方、日本での仕事量を確保していくことは、当然ながら取り組むべき課題となります。エンジン部品事業においては、昨年から続く、過去最大規模となる多数の新規ライン立上げの総仕上げをやり遂げるとともに、既存ラインのQCD目標達成へ向けた取り組みが、今後の新規受注へつながっていきます。

また、この海外進出が国内の仕事に還流していくと確信しています。国内外で製品を作り分けることで、安永の競争力が一層高まっていくのです。

海外拠点の動向

引き続き、海外拠点の動向について述べたいと思います。

インドネシアでは、社員数が600名を超えてきました。コンロッド事業、エアーポンプ事業とも、非常に忙しくなっています。両事業とも、更なる能増の話も出ており、これらを混乱なく立ち上げていくことが課題となっています。

中国では、昨年9月の騒動の際も、幸いなことに、社員全員の無事を確認することができました。中国に限らず、海外展開していく上で、そういった社会情勢の変化に対して、俊敏に、社員の健康や安全を確保していきます。

韓国では、昨年3月に工場完成した後、稼働に向けての周辺装置も整いつつあります。新規受注も決まりましたので、いよいよ今年は、量産稼働に向けて、立ち上げ準備が本格化していきます。

アメリカでは、新規受注プロジェクトが重なってきており、顧客対応が増えてきています。特に、コンロッド素材と小部品のアメリカ調達も始まることから、品質面の確保が重要な役割となってきます。

これら海外拠点へのサポートも日本の大きな役割の一つです。皆さんには、出張や駐在などお願いする機会が増えていくと思います。どうか、よろしくお願い申し上げます。

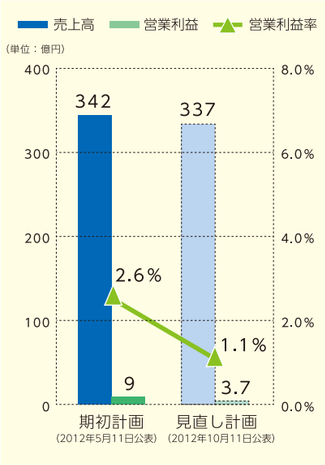
R&D本部の一歩

いよいよR&D本部が自社製品化へ向けて動き出しました。もともと6年前に、経営企画部内に商品企画を設置して、時の課題を暗中模索してきました。この度、調査研究・技術開発を試行錯誤する中で、ようやく、リチウムイオンバッテリーの製造に使用する箔打・塗工・乾燥装置の誕生となりました。

年度見直し計画

引き続いて、年度見直し計画について述べたいと思います。

今年度上期を前年同期と比較すると、エンジン部品事業と環境機器事業では、売上、利益とも堅調に推移したものの、機械装置事業では、太陽電池向け販売が依然として低迷しており、売上、利益とも大幅に悪化しました。



今年度下期、皆さんや皆さんの部署が立てた計画に、こだわりを持ってやり遂げてください。計画達成できれば、必ず、道は開けてきます。

安永グループの近況について

ここからは、安永グループの近況に触れたいと思います。

安全への取り組み1

安永運輸が、安全を柱に大きな意識改革に成功していることを皆さんにお知らせします。

昨年4月にFineTransportプロジェクトをキックオフさせ、5月には新経営陣の下、安全基本方針を高らかに宣言しました。

安全と品質を会社の生命線ととらえ、運行前後の点呼重視、飲酒運転を防ぐアルコールチェック遵守、安全運転を見守るデジタコメーター遵守について、トップ以下、徹底して取り組んでいます。

一人一人の意識が明らかに変化してきました。この安全への厳しい姿勢は、転倒事故の減少など品質面へも良い影響を与えています。

ぜひこの良き活動を続けていってほしい。この安永運輸の取り組みは、心掛け一つで、意識が変わり成果となった好例であり、グループ内で見習うべきだと感じました。

安全への取り組み2

工場巡視を、昨年11月に名張工場、12月にゆめぼりす工場と行いました。工場内の指差呼称（指差し確認）の運動が始まっていました。安全への取り組みとして、今後、全工場で徹底していくとのことでした。

私も工場床にある足マークの上で、右ヨシ、左ヨシと、見よう見まねで始めました。まだまだ初心者ですので、慣れないところもありますが、皆さんと一緒にやっていきます。

工場を見て回る中で、数多くの改善活動を目のあたりにでき、大変うれしく思いました。災害ゼロに向かって取り組みましょう。

挨拶と会釈

各工場での朝の挨拶も増えつつあると感じます。管理職の皆さんが交代で、時に自主的に、立哨を率先垂範されているおかげで、大きな挨拶がかわされるようになったとの声を多く聞きます。挨拶した時に相手の健康等おもんばかることにもなりますので、自然と挨拶や会釈ができるようになりたいものです。

ヘルシーメニュー

皆さんの健康促進を目指して、低カロリーの食材を主に、味付け、盛り付けの工夫で、おいしく食べやすいメニューとなりました。おかげで、昼食が楽しみになってきました。今では、ヘルシーメニュー品を選ぶ人のほうが多くなっています。

ファミリーイベント

昨年10月に無事に開催されました。

あいにくの雨もあり、一昨年よりは来場者が少なかったものの、家族連れの方も多く和やかな雰囲気となりました。今年は、もっと多くの皆さんに来てもらうよう、楽しい企画を考えたいと思いますので、ご期待ください！

新年を迎えて

さあ、新しい一年の始まりです。新たな気持ちで一丸となって頑張っていきましょう！